

ふれあいKAWACHIネット



第83号 令和3年11月
発行：河内教育事務所
ふれあい学習課
後援：宇河地区生涯学習研究会

学校・地域と連携した地域学講座（宇都宮市）

河内生涯学習センターでは“郷土愛の醸成”をテーマに、中学校や地域団体と連携を図り、共同で講座を開催しました。また、感染症で中止となった社会体験学習の代替として、古里中学校の生徒が地域の良さをPRするリーフレットを作成しました。

生涯学習センターの地域学講座「いきいき河内発見講座」に生徒たちを講師として招いた際には、リーフレットを活用し、寸劇やクイズ等を織り込んだ分かりやすい説明が参加者から大好評でした。また、地域学講座の受講者はシニア世代がほとんどでしたが、中学生を講師として迎えた講座は、幅広い年齢層の参加につながり、定員いっぱいを受講者が集まりました。今後も、地域に住む一人一人が「自分ごと」として様々な視点から地域を学び、理解を深められるよう、世代を越えた情報交換の場や住民同士の学びの機会を取り入れた講座を積極的に提供していきたいと考えています。



上三川町人権カレッジ（上三川町）

上三川町では「町民だれもが一人一人の基本的人権を認め合う地域づくりまちづくり」を目指して、教育行政をはじめ行政全体での取組を行っています。

町民一人一人がかけがえのない人間として尊重され、安心して楽しく暮らせる町にするためには、家庭・地域・学校をはじめとして町全体でさまざまな差別をなくす努力をしていかなければなりません。

人権に関する課題は、社会の変化とともに内容も多様化しており、町民の人権意識の啓発を含め、人権問題の正しい理解と認識を深める学習を継続する必要があります。

人権カレッジは、町職員をはじめ地域や団体の指導的立場にある方々が主な対象者になります。憲法で保障された基本的人権を守るため、身近にある人権問題の存在に気づき、さらに地域や団体活動の場での差別に対して適切な対応ができる資質を持つ指導者の養成をねらいとしています。



河内地区生涯学習センター及び公民館の情報交換会



10月12日(火)に、河内地区生涯学習センター及び公民館の情報交換会を初めて開催しました。

宇都宮市生涯学習センター職員9名、上三川町公民館職員2名が参加し、「より充実した講座にするために」というテーマのもと、グループ協議を中心に情報交換を実施しました。

実施しました。

持ち寄った講座チラシ等をもとにしたグループ協議は、どの回も時間が足りないほど熱心に行われていました。

内容は、地域の人材や資源を活かした講座や、高校や大学、企業との連携した講座、参加者のニーズを汲んだSNS講座、コロナ禍での講座実施の工夫など多岐にわたり、意見交流をしていました。

参加者からは、「貴重な情報をいくつも得ることができ、刺激になった。」「他館で工夫していることや問題点が共有できたのは良かった。」「生涯学習講座は情報が行き届かないため、このような機会は必要と思った。」など、とても有意義な情報交換になったようです。

参加者アンケートから、全員が「ぜひ参加したい」と回答していました。来年度は講座企画に参考になる時期に開催しますので、多くの生涯学習センター及び公民館職員の皆様に参加いただくと幸いです。

とちぎ未来大使『夢』講座

「とちぎ未来大使『夢』講座」は、県内外で広く活躍する「とちぎ未来大使」を講師とし、中学校時代の経験や、目標をもち、その目標を達成した過程を講話や実演、交流等により中学生等に伝え、中学生等に「夢」をもたせ、考えさせる機会を提供するものです。

今年度は、管内の陽南中学校及び国本中学校で振付師の真島茂樹氏、また、旭中学校ではH.C 栃木日光アイスバックス代表取締役であり、サッカー解説者のセルジオ越後氏を講師にお招きして、『夢』講座の開講を予定しています。

年明けには、次年度の開講希望調査の実施を予定していますので、開講に向けた検討をお願いします。



ふれあい学習に関するお問合せ先

河内教育事務所ふれあい学習課 TEL 028-626-3183 E-mail: kawachi-fureai@pref.tochigi.lg.jp